



Sapporo Gakuin University

学園広報

2004.6.25 No.88

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011)386-8111
http://www.sgu.ac.jp

情報ポータルシステムが稼動 情報ネットワークを活用した新たな学生支援の展開

今年度から学生向けの新たな情報ネットワークサービス「情報ポータルシステム」が稼動しました。「ポータル」という言葉は「入り口」や「玄関」を意味します。また、インターネットの世界では、必要な情報への入り口となるホームページのことを指しています。

四月以降、学生はこの情報ポータルシステムから学生生活に役立つ情報を引き出しながら多様なサービスを受けています。たとえば、履修登録や成績確認など、従来は窓口まで足を運ばなければならなかった手続きを自宅のパソコンから簡単に済ませることができるようになりました。大学からの呼び出しや講義連絡は、パソコンだけでなく携帯電話でも確認することが出来ます。

就労活動に必要な求人情報や卒業生の在社情報を様々な条件で検索するしくみも用意されました。今後、年次計画的にシステムを改善しながら学生サービスの向上を目指しますが、これと並行して情報ネットワークを活用した新たな学生支援の展開を試みています。

これは、情報ポータルシステムを基盤に学生と教職員との間に情報ネットワークを利用し、一人ひとりの関係性を築き、教職員がそれぞれの専門性を発揮しながら個々の学生にタイムリーな助言を与えるというものです。これまでの対面での指導と組み合わせながら、学生が自らの興味や関心、適性に応じて自主的に将来の進路を見定めることを支援し、その実現に向けた学習意欲の喚起を促す取り組みです。



学長就任にあたって

いま日本の私立大学は未曾有の危機を迎えている。十八歳人口の減少は、学生確保をすでに全国の大学の三割が



学長 布施晶子

評価の開始もまた淘汰・再編の可能性がある。私は、学長のポストに就くに当たり、今後、わが大学の政策を構想するに先立って確認しておかなければならないことは何かを考えた。第一は大学の第一義的機能は教育にあるという命題の確信に基づき、大学づくり、第二は学生支援を中軸にすえた大学づくり、第三は本学の学生の特色を踏まえた教育の実施、そして第四に教員・職員・学生のコラボレーションによる大学づくりの四点が浮かび上がった。いうまでもなく、これらは何も目新しい内容ではない。本学の教職員がこれまで幾度となく確認してきたことの意味では、本学はその発祥

いまこそ学生と教職員の コラボレーションを

めぐる大学間競争と淘汰・再編の時代の到来に連続し、国立大学法人化の開始も淘汰・再編に拍車をかけている。資源的競争の配分をめぐらる中、見越した大胆かつ細心の政策的な研究拠点の形成、第三者が講じられなければならない。

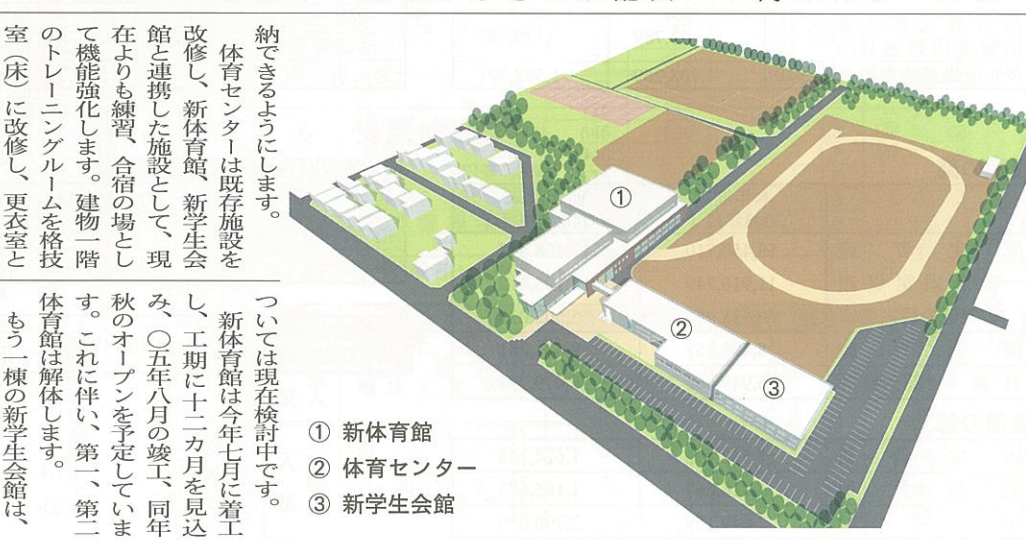
第二キャンパスに 総合体育施設を建設 新体育館7月着工

布施学長就任
本学第九代学長に四月一日、人文学部教授・布施晶子(専攻・家族社会学)が就任しました。狩野陽前学長の任期満了に伴う学内選挙を経て、本年二月開催の理事会で選任されたものです。本学で初の女性学長です。任期は、三年。

建設する総合体育施設は、新体育館と体育センター、学生会館が一体となった施設であり、スポーツを通じた新しい学生生活の拠点を創るものです。新体育館は総合体育施設の中心となる施設であり、第二キャンパスの顔づくりに欠かせない重要な役割を果たします。第一キャンパスからのアプローチ、ゲートからの見え方を考慮して、東側駐車場と多目的グラウンドの北側の一部を使って新築します。二階建てで、延べ床面積は約五、五〇〇㎡を予定しています。

建設する総合体育施設は、新体育館と体育センター、学生会館が一体となった施設であり、スポーツを通じた新しい学生生活の拠点を創るものです。新体育館は総合体育施設の中心となる施設であり、第二キャンパスの顔づくりに欠かせない重要な役割を果たします。第一キャンパスからのアプローチ、ゲートからの見え方を考慮して、東側駐車場と多目的グラウンドの北側の一部を使って新築します。二階建てで、延べ床面積は約五、五〇〇㎡を予定しています。トレーニングルーム(約四〇〇㎡)は建物北側一階に配置し、隣接した緑地を見ながらの快適なトレーニングができるようにしています。吹き抜けのガラススペースを設けて、クラブの練習やマシントレーニングの様子を外から見えるようにして、学生へのクラブ活動のPRや健康増進に対する意識向上を図ります。他には、緑地を見て憩う休憩スペースのラウンジや更衣室、シャワー室、管理室、機械室を建物一階に設けます。新学生会館は、現在の第二体育館の位置に新築し、二階建てで、延べ床面積は一、五〇〇㎡を予定しています。既存の体育センターと一体的な施設とすることにより、充実したミーティング、合宿の場をつくることにも、クラブ活動に参加する学生にとって快適な環境をつくりたい。建物一階と二階の間に、二階の部分を配置し、一階中央部には格技室(畳)を設け、二階中央部は各部共通のミーティングコーナーとし、クラブ間の交流がしやすい空間にしています。また、一階北側に共有トレーニング室を設け、各クラブで保管が必要な器具を取

れいに保てるようにします。また、メインアリーナの上には、一周約百八十mのランニングコースを設置します。サブアリーナ(約八〇〇㎡)は建物北側二階に配置し、バスケットボールコート一面の広さを確保しており、室内サッカーにも対応可能なハードなつくりとします。トレーニングルーム(約四〇〇㎡)は建物北側一階に配置し、隣接した緑地を見ながらの快適なトレーニングができるようにしています。吹き抜けのガラススペースを設けて、クラブの練習やマシントレーニングの様子を外から見えるようにして、学生へのクラブ活動のPRや健康増進に対する意識向上を図ります。他には、緑地を見て憩う休憩スペースのラウンジや更衣室、シャワー室、管理室、機械室を建物一階に設けます。新学生会館は、現在の第二体育館の位置に新築し、二階建てで、延べ床面積は一、五〇〇㎡を予定しています。既存の体育センターと一体的な施設とすることにより、充実したミーティング、合宿の場をつくることにも、クラブ活動に参加する学生にとって快適な環境をつくりたい。建物一階と二階の間に、二階の部分を配置し、一階中央部には格技室(畳)を設け、二階中央部は各部共通のミーティングコーナーとし、クラブ間の交流がしやすい空間にしています。また、一階北側に共有トレーニング室を設け、各クラブで保管が必要な器具を取



① 新体育館
② 体育センター
③ 新学生会館

是非この機会に、札幌学院大学を『見て・聞いて・体験』して下さい。

オープンキャンパス

7月31日(土) 11:00~16:00
10月3日(日) 11:00~16:00

会場 札幌学院大学 50年記念館SGUホール ほか
内容 ミニ講義、個別相談会(入試・就職・資格など)、キャンパスツアー、クラブ見学、無料学食体験 ほか
申し込み 自由参加のため事前の申し込みは必要ありません。
※参加者には、入学案内・入試資料のほか、過去問題集やSGUオリジナルグッズをさしあげます。

2004年度就職戦線

新たな進路・就職プログラムで難関突破を!

二〇〇三年三月に卒業した大卒者の就職率は、文部科学省「学校基本調査」によると五五・〇％(前年より一九ポイント低下)と過去最低の数字となりました。就職率はこの十年で二十五ポイントも低下し、今や大卒の五人に一人が就職も進学もしない「新卒無業」時代と言われています。こうした状況を反映するように、総務省統計局がまとめた労働力調査(二〇〇四年二月結果)によると、十五歳から二十四歳の完全失業率は一〇％と全体を大きく上回っています。また、「七五三」と言われているように大卒の三割、高卒の五割、中卒の七割が入社後三年以内に離職する傾向にあり、年々増え続ける「働かない若者」が国の活力を低下させるという危機感が、政府や企業に広がっておりま

この様に急激に変化した大卒者の就職状況を踏まえて、本学では進路・就職支援を重点課題として位置づけ、一人でも多くの学生が希望する進路(就職)に進めるように、

昨年度から新たな進路・就職支援の取り組みを開始しました。現四年生はその進路・就職プログラムにより指導した一期生であり、就職活動の成果を大いに期待しているところです。ここで、その進路・就職支援プログラムの一端を紹介しましょう。

一つは、木曜日三講時を三年生の「進路・就職指導講時」に位置づけたことです。一九九七年に就職協定が廃止された後、企業の採用活動は年々早期化し、大学生の就職活動の中心は三年生に移行しました。本学でも早期化に対応して、これまでも三年生に対する数々の進路・就職プログラムを実施してきましたが、「授業と重なり出席できない」「放課後はアルバイト、クラブ活動で出席できない」等の理由で出席率は決して高くはありませんでした。

三年生全員が出席できるように、二〇〇三年度からは全学的な協力を得て、木曜日三講時を「進路・就職指導講時」と位置づけ、三年生の授業科目を全て他の講時に移動し、

全員が出席できる時間帯を確保しました。これにより、六月に開催した「第一回就職ガイダンス」には過去最高の九十四名が出席、それ以降も軒並み高い出席率を記録しました。また、これに併せ、これまで月一〜二回のペースで実施していた就職ガイダンス等を六月以降はほぼ毎週開催するスケジュールを組み、就職活動の基礎から応用及び実践まで従来になく充実したプログラムを実現させました。

二つ目は、これまで希望者対象に行ってきた適性検査(有料)について、二〇〇二年度から予算化を図り、三年生全員を対象に実施したことです。昨年度実施した適性検査(コンピュータ診断)には、九割を超える学生が受検して進路・職業選択、自己分析等に活用しております。

このほか進路・就職支援プログラムとしては、「低学年からの進路・職業観の育成」の取り組みとして、二年生全員の履修環境の改善には時間がかかりそうです。従って、地元勤務に固執する傾向が強い本学学生の就職意識が大きく変わらない限り、就職難の傾向は続くものと思われま

さて今年度の就職戦線ですが、日本経済新聞社の二〇〇五年春新卒採用計画調査によると、道内外とも採用を拡大する企業が増加する見通しで、「氷河期」と言われた厳しい就職環境は改善傾向が鮮明になってきたようです。ただ道内中小企業などは依然として採用を抑制しており、道内の雇用環境の改善には時間がかかりそうです。従って、地元勤務に固執する傾向が強い本学学生の就職意識が大きく変わらない限り、就職難の傾向は続くものと思われま

期に目的意識の醸成を図ることを狙いとし、自分の強み・弱み、関心・興味を理解し、卒業後の進路・就職を見据えて、目標を持った大学生活を送って



就職活動のアドバイスを受ける学生(就職課)

教職員 人事

◎任命
平成十六年四月一日付
学長

- 布施 暁子 新任
- 法学研究科長
- 鈴木 敏夫 新任
- 臨床心理学研究科長
- 池田 光幸 再任
- 法学部長
- 西尾 敬義 新任
- 社会情報学部長
- 千葉 正喜 再任
- 教務部長
- 小林 好和 新任

◎採用
平成十六年四月一日付

- 渡辺 利治 教授 民法特論A
- 前 専修大学北海道短期大学 教授
- 小杉 伸次 教授 商法
- 前 東京都立短期大学教授
- 葛西 俊治 教授 心理学基礎実験
- 前 北海道工業大学助教授

- 井手 正吾 助教授 パソナリテリ論I
- 前 北海道薬科大学助教授
- 北田 雅子 助教授 総合講義C(健康科学)
- 前 (財)仙台市健康福祉事業団仙台市健康増進センター

- 佐野 友泰 講師 臨床心理学総論II
- 前 育英短期大学講師
- 祐成 保志 講師 量的調査設計
- 前 立教大学非常勤講師
- 榎本 愛 教務部教務課
- 小樽商科大学商学部商学科卒業

- 渡邊 勝義 総務部総務課
- 前 札幌ビジネスサービス(株) 部長
- 森山 勉 教務部教務課
- 前 札幌南高等学校事務長

- ◎昇格
平成十六年四月一日付
教授 渡邊 慎哉
- ◎退職
平成十六年一月二十九日付
鳥居 代和 教授
- 平成十六年二月二十九日付
岩壁 茂 助教授
- 平成十六年三月三十一日付
狩野 陽 学長・教授
- 安楽 鉄男 教授
- 木下 公明 教授
- 後藤 弘 教授
- 宇田 一明 教授
- 波多野 雅子 教授
- 南 隼 助教授
- 中原 睦美 助教授
- 西原 広望 助教授
- 桜井 宏平 (企画調査室 企画調査課)
- 廣山 佳信 (総務部総務課)
- 大久保 昭昭 (教務部教務課)

消費収支計算書

(単位:千円)

	2003年度決算	2004年度予算
学生生徒等納付金	5,092,377	5,112,900
手数料	97,637	91,500
寄付金	23,487	14,200
補助金	348,416	399,800
(内 経常費補助金)	(323,585)	(394,000)
資産運用収入	151,030	158,700
資産売却差額	19,641	45,000
事業収入	23,076	500
雑収入	171,675	106,300
帰属収入合計	5,927,339	5,928,900

基本金組入額合計	△986,445	△1,147,300
消費収入の部合計(ア)	4,940,894	4,781,600

	2003年度決算	2004年度予算
人件費	3,007,388	2,851,000
(内 退職給与引当金繰入額)	(114,705)	(0)
教育研究経費	1,468,942	1,571,500
(内 減価償却額)	(418,498)	(434,600)
管理経費	382,620	392,200
(内 減価償却額)	(71,614)	(62,800)
借入金等利息	11,944	6,197
資産処分差額	42,528	31,100
徴収不能引当金繰入額	3,683	100
予備費	0	59,000
消費支出の部合計(イ)	4,917,105	4,911,097

消費収入超過額又は消費支出超過額(ア-イ)	23,789	△129,497
翌年度繰越消費収入超過額	1,708,269	1,578,771

資金収支計算書

(単位:千円)

	2003年度決算	2004年度予算
学生生徒等納付金収入	5,092,377	5,112,900
手数料収入	97,637	91,500
寄付金収入	8,640	8,000
補助金収入	348,416	399,800
資産運用収入	151,030	158,700
資産売却収入	1,043,441	2,200,000
事業収入	23,076	500
雑収入	171,675	106,300
借入金等収入	9,900	9,000
前受金収入	813,433	872,600
その他の収入	336,036	2,133,873
資金収入調整勘定	△1,064,397	△870,433
前年度繰越支払資金	2,754,609	2,200,186
収入の部合計	9,785,873	12,422,926

	2003年度決算	2004年度予算
人件費支出	2,998,169	2,906,000
教育研究経費支出	1,050,443	1,136,900
管理経費支出	311,006	329,400
借入金等利息支出	11,944	6,197
借入金等返済支出	111,236	110,993
施設関係支出	111,486	976,500
設備関係支出	216,646	239,100
資産運用支出	2,745,256	4,620,000
その他の支出	112,108	124,388
予備費	0	59,000
資金支出調整勘定	△82,607	△91,340
次年度繰越支払資金	2,200,186	2,005,788
支出の部合計	9,785,873	12,422,926

貸借対照表		(単位:千円)	
基本金	22,591,634	21,605,189	
消費収支差額	1,708,269	1,684,480	
小計	24,299,903	23,289,669	

負債の部・基本金及び消費収支差額の部合計		(単位:千円)	
負債の部・基本金及び消費収支差額の部合計	26,949,062	26,079,728	

資産の部		(単位:千円)	
基本金	22,591,634	21,605,189	
消費収支差額	1,708,269	1,684,480	
小計	24,299,903	23,289,669	

負債の部		(単位:千円)	
固定負債	1,532,492	1,624,366	
流動負債	1,116,667	1,165,693	
小計	2,649,159	2,790,059	

二〇〇三年度決算・二〇〇四年度予算

二〇〇四年五月二十六日に開催された学校法人札幌学院大学第一五五回理事会において、二〇〇三年度決算並びに二〇〇四年度補正予算が承認されました。

二〇〇三年度決算の概要
二〇〇三年度は帰属収入の増加があったものの教室マルチメディア装置の更新や学生支援システムの構築、一〜二号館渡り廊下増築工事などを行い、経費支出も増加となりましたが、最終的には二、三、

七九千円の消費収入超過となりました。

帰属収入では学生納付金、補助金収入と雑収入などで増額、手数料収入では入学金志願者の減少による減額でした。消費支出では人件費と教育研究経費で経費支出が予算より増加となりましたが、全体収支では均衡を保つことができました。

特に、今後も大学進学人口は減少傾向であることから、入学金志願者や新入生の確保はより一層難しさを増すところ

です。今後とも経費の節減に努力するとともに、中長期的財政の見通しについても慎重に検討をまいります。

二〇〇四年度予算の概要
本年度の新規予算及び主要項目は次の通りです。

① 入試広報の充実、進路就職の特別対策
② 進路・就職適性検査の実施
③ インターネットやメディアを活用した情報発信の充実

二 社会連携事業の推進(コミュニティカレッジ講座、社会連携活動など)

三 基幹ネットワークの更新

四 学生支援システムの維持

五 校内施設・教室環境の充実・整備

① マルチメディアコンテンツ作成機器の整備
② 二号館、C・D館外装補修工事
③ A館暖房設備工事

六 新校舎建設資金への組入

七 札幌学院大学奨学金基金の継続組入

八 札幌学院大学国際交流基金の継続組入

九 総合体育施設建設工事

十 教育環境の基盤整備

① 職業観教育の導入とインターンシップの実施
② シラバスの作成
③ FD導入の推進
④ 学外講師によるリレー講義・特別講演等の実施
⑤ 課外活動奨励金制度の実施

六 国際交流活動の推進

アンケート調査の汗と恩返し

商学部調査実習、十七年目

商学部が一八八八年から実施している「商学調査実習」科目が今年で十七年目をむかえた。本科目では、道内外の企業や商店、行政機関などを訪問して事業経営や地域行政の実態調査をしている。毎年八名ほどの教員がそれぞれ十名前後の学生を指導しながら調査と報告書作成に取り組んでいる。

フィールド調査は、ヒアリングばかりでなくアンケート調査も行い独自のデータを作成している。アンケートでは毎年二〇〇名から三〇〇名の方協力していただいているが、学生にとっては汗だくの挑戦でもある。

街頭アンケートといえば、札幌の繁華街をみかけるキャッチセールスの印象しかない。ほとんどの学生は、それを無視すべきものと、感じている。その街頭アンケートを自分たちがしなければならぬことで、悲喜こもももの格闘になる。「あの人の声をかけよう」と決めても最初の声がかからない。まずは恥ずかしいという想いを払拭する

道の駅

道庁が推進する「道の駅」は、観光資源の活用と地域活性化を図るため、道の駅に利用する施設を積極的に活用している。道の駅に利用する施設は、道の駅に利用する施設を積極的に活用している。

まおこしに貢献—86%
 娯楽施設や風呂の充実を
 中高生女性向け産品販売
 アンケートに利用—38%

毎日新聞(秋田) '04年4月18日付

とから始まる。そのためにはとありえず、自分を捨ててみる。難なくこなす学生もいれば、声をかける前から断られる学生もいる。仲間の誰かはすでに数をこなしているの、弱音をほいても任方が無い、とまた動き出す。

アンケート開始直後、教員は心配もし、落ち着かないが、普段無口な学生が堂々と説明をする姿ははるか遠くから腰を低くして営業スマイルで人に近づこうとする姿を見るに、とまた動き出す。

アンケート開始直後、教員は心配もし、落ち着かないが、普段無口な学生が堂々と説明をする姿ははるか遠くから腰を低くして営業スマイルで人に近づこうとする姿を見るに、とまた動き出す。

よこがお 笹岡 征雄

(人文学部教授)

一九五四年(昭和二十九年)八月には還暦記念ランニング美唄で開催された南空知中学校として、中国・ウイグル自治校陸上競技大会(五〇〇m区トルファンのアスターナ古に、十三歳で出場して以来、壇前から高昌故城まで走り私は走ることを続け、公式また。

私が長い競技生活を今日まで継続してきたのは、常に到達可能な目標を設定し、そこに達したら更に一段高い目標をというように、これを繰り返してきたからである。幸い健康に恵まれ、この五十年間に目標としてきた競技大会出場六六三回を数えることができた。

目標に向かい一秒でも一歩でも前進するため頑張ること、結果の記録もさることながら日常の努力に悔いを残さないことを信条としてきた。特に教職にあるものとして、人間形成におけるスポーツ教育の重要性を体現していくことを課題に、学内のみならず、斯界に貢献できたらと考えている。



第7回ソウル国際市民マラソン大会で

走り続けて50年

たは公認競技大会への出場回数六六三回を数えるに至った。二〇〇一年(平成十三年)離から長距離へ、さらにマラ

2005(平成17)年度入学試験日程

研究科	出願期間	試験日	合格発表日	試験場
法学研究科	9月10日(金)	10月2日(土)	10月13日(水)	本学
臨床心理学研究科	9月17日(金)	筆記10月2日(土) 面接10月3日(日)	10月13日(水)	本学
地域社会マネジメント研究科	9月10日(金)	10月3日(日)	10月13日(水)	本学
	9月17日(金)	2月12日(土)	2月23日(水)	

学部

試験区分	学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	試験場
推薦入試	人文学部英語英米文学科	11月1日(月)	11月26日(金)	12月11日(土)	本青 学森
	人文学部臨床心理学科	11月12日(金)	11月27日(土)		
一般入試	人文学部人間科学科	1月7日(金)	2月7日(月)	2月23日(水)	本旭帯青仙東大
	人文学部英語英米文学科	1月27日(木)	2月8日(火)		
大学入試センター試験	人文学部人間科学科	1月7日(金)	1月15日(土)	2月23日(水)	大学入試センターが指定する会場
	人文学部英語英米文学科	1月31日(月)	1月16日(日)		
海外帰国生	人文学部英語英米文学科	11月1日(月)	11月26日(金)	12月11日(土)	本青 学森
	人文学部臨床心理学科	11月12日(金)	11月27日(土)		
社会人	人文学部英語英米文学科	11月1日(月)	11月26日(金)	12月11日(土)	本青 学森
	人文学部臨床心理学科	11月12日(金)	11月27日(土)		
外国人	臨床心理学科を除く全学科	11月1日(月)	11月26日(金)	12月11日(土)	本学



福島県喜多市で街頭アンケート

元気をいただいている。アンケート結果の分析では、そのまの多くの人たちの顔を思い出し、数字を大切に扱うことになる。学生にとってそのこともまた貴重な経験になっている。報告書は自分たちの提言をまとめることとで完成する。その報告書は毎年新聞記事として報道され、ご協力いただいた方への報告となり、また地域へのささやかな恩返しとさせていただきます。

(確井和弘・商学部助教授)

2004年度入試結果

二〇〇四年度入試の志願者総数は、四、〇七五名(前年度四、八四〇名)で、前年度比八四・二%、七六五名の減少でした。

この内訳は、一般入試が一、八九九名(前年度二、四二四名)、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)が二、

2004(平成16)年度入試結果

一試験別・学科別概要

区分	学 科	志願者	受験者	合格者	競争率	
一般入試	商 学 科	215	214	177	1.2	
	経 済 学 科	380	374	260	1.4	
	間 科 学 科	307	301	145	2.1	
	英 語 英 米 学 科	168	165	79	2.1	
	臨 床 心 理 学 科	369	360	120	3.0	
	法 律 学 科	281	272	210	1.3	
	社 会 情 報 学 科	179	175	169	1.0	
	計	1,899	1,861	1,160	1.6	
	センター試験	商 学 科	163	163	150	1.1
		経 済 学 科	222	217	162	1.3
間 科 学 科		197	196	100	2.0	
英 語 英 米 学 科		112	112	67	1.7	
臨 床 心 理 学 科		163	162	56	2.9	
法 律 学 科		250	248	190	1.3	
社 会 情 報 学 科		170	170	166	1.0	
計		1,277	1,268	891	1.4	
推薦入試		商 学 科	38	38	35	1.1
		経 済 学 科	19	19	17	1.1
	間 科 学 科	27	27	19	1.4	
	英 語 英 米 学 科	15	15	11	1.4	
	臨 床 心 理 学 科	26	26	12	2.2	
	法 律 学 科	37	37	20	1.9	
	社 会 情 報 学 科	42	42	41	1.0	
	計	204	204	155	1.3	
	総 計	商 学 科	126	126	126	1.0
		経 済 学 科	105	105	104	1.0
間 科 学 科		115	115	82	1.4	
英 語 英 米 学 科		51	51	43	1.2	
臨 床 心 理 学 科		78	78	25	3.1	
法 律 学 科		108	108	108	1.0	
社 会 情 報 学 科		91	91	91	1.0	
計		674	674	579	1.2	
注)競争率=受験者÷合格者		商 学 科	542	541	488	1.1
		経 済 学 科	726	715	543	1.3
	間 科 学 科	646	639	346	1.8	
	英 語 英 米 学 科	346	343	200	1.7	
	臨 床 心 理 学 科	636	626	213	2.9	
	法 律 学 科	676	665	528	1.3	
	社 会 情 報 学 科	482	478	467	1.0	
	計	4,054	4,007	2,785	1.4	

区分	学 科	志願者	受験者	合格者	競争率
入 試	法 律 学 科	1	1	1	1.0
	人 間 科 学 科	2	2	2	1.0
	臨 床 心 理 学 科	4	4	2	2.0
	計	7	7	5	1.4
外 国 人 入 試	商 学 科	8	7	4	1.8
	経 済 学 科	3	3	3	1.0
	間 科 学 科	2	2	2	1.0
	社 会 情 報 学 科	1	1	0	-
計	14	13	9	1.4	

二〇〇四年度 父母懇談会

旭川市 7月10日(土) 旭川トーヨーホテル

北見市 7月11日(日) 北見東急イン

小樽市 10月23日(土) 小樽ランドホテル

本学 11月13日(土) 50年記念館 S.G.Uホール

いずれも対象となる地域の父母には一カ月前にご案内を郵送します。

二〇〇四年度「講演と音楽の夕べ」の案内

◎室蘭市民講座 7月2日(金) 開演:午後6時30分(開場:午後6時)

講演 「携帯電話の功罪」 講師 室蘭市民会館ホール 確井和弘

音楽 「ピアノトリオの名曲」 講師 商学部助教授 確井和弘

ピアノ ベートーベン ピアノトリオ第7番 変ロ長調 作品97「大公」

ピアノ オプリピオン(忘却) リベルタンゴ

ピアノ ヴァイオリン 土大 林 谷

チェロ チェロ 田 英 順 子 里

◎第28回学術講演会 9月24日(金) 開演:午後6時30分(開場:午後6時)

11月5日(金) 開演:午後6時30分(開場:午後6時)

札幌市民会館大ホール

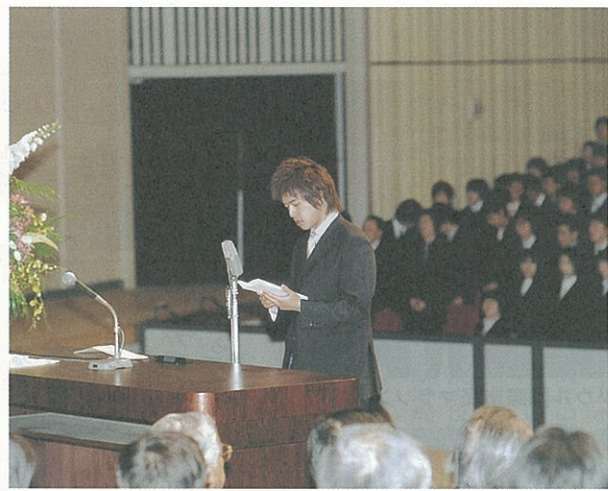
2004 期待と出会いの新入生合宿オリエンテーション

—新入生を迎える25年の多彩な取り組み—

「新入生の仲間づくり、大学生活への不安解消」を主要な目的に、学部毎に教職員と先輩学生で組織された実行委員会において様々な企画が練られました。商学部の岡部祥子氏の講演「好き」はすべてのエネルギー、人文学部の西澤兼子氏の講演「生命と性と少子時代」、経済学部の佐々木学部長の「経済を見る目」等の学部企画では、新大生に対して人間としてどう

定山温泉の「ホテル鹿の湯」「花もじ」「ホテルミロオーネ」グラウンドホテル瑞苑」の全館を借切って、二〇〇四年度新入生合宿オリエンテーションが四月六日、七日の両日にわたって行なわれました。

今回の合宿オリは、一九八〇年の第一回企画から数えて二十五回目の記念すべき年にあたり、商学部、経済学部、人文学部、法学部、社会情報学部の全学部の新入生一、一九六名、教職員九十一名、先輩学生の実行委員一八〇名が出席しました。



新入生を代表して決意表明を行う岸尾浩嗣君

「夢の実現と奮闘を」

二〇〇四年度入学式

この四月に新学長に就任した布施昂子学長のもと、平成十六年度入学式が四月三日(土)午後、時から北海道厚生年金会館ホールで挙行されました。本年度の入学式は、大学院が法学研究科十名、臨床心理学研究科十一名、地域社会マネジメント研究科十一名の三十二名、学部生が商学部第一部二五名、経済学部二二名、人文学部三四三名(人間科学科一六四名、英語英米文学科十名、臨床心理学科九十九名)、法学部二七名、社会情報学部二〇三名の二二〇名、併せて二二五名です。当日は、冬の名残が残る肌寒い日にもかかわらず、多数の父母が参列し、二、三〇〇席のホールが満席となりました。

四年間をいかに過ごすか多くの皆さんが考えている以上に大きな意味をもっており、自分探しの旅において狭い殻に閉じこもることなく自らの夢を持ち続け、夢の実現に向けた一歩を踏み出す、教職員は、そして先輩は、目的意識を持ってがんばるあなた達を支援サポートし、励まし(エンカレッジメント)、また力をつけること(エンパワメント)に惜しみなく協力することを約束すると述べました。

また、伊坂重孝理事長は祝辞で、いま世界情勢が混沌として、日本経済、教育の荒廃など日本社会の根底が揺らいでいる状況の中、これからの四年間、大学を大いに活用し、有意義に過ごしていただきたいこと、それがやがて、複雑で、不透明な社会を生き抜く力となるだけでなく、人間理解の幅を広げ、豊かな人生を拓くことに繋がると述べ、大學生生活が実り多いものとなるよう激励しました。

また、在学生を代表して法学部学生自治会執行委員長の前田佳さんが祝辞を述べた後、新入生を代表して社会情報学部に入学者の岸尾浩嗣君から、これからは大学生として自覚と責任を認識し、自分の考えが大きな芽になるよう努力し、豊かな人間性を養い、社会に役立つ糧として自分を確立していきたい、との抱負が述べられました。

入学式に臨んだ新入生が健康で良い人間関係に恵まれ、四年後には札幌学院大学に入学して良かったと言えるような大學生生活を送ることを期待してやみません。



膝をつき合わせた履修相談(商学部)

学び、こう成長してほしいという大学からのメッセージが伝えられました。クラス企画、学部交流会では、自己紹介、ビンゴ大会、クイズ大会等、学生による趣向を凝らした取り組みが披露されました。また、フリーセッションの「キャンパスライフ相談」「履修相談」では、新入生から大學生生活や講義についての真剣な質問が出され、先輩学生や教員が丁寧に答えている姿が見られました。

現代の傷つきやすい、全く見ず知らずの新入生をいきなり一泊させることに学内でも疑問がありますが、合宿オリ後の新入生アンケートで「有意義であった」とするものが八〇%を超す状況と新入生自身の「荒っぽいけど友達が必要だ」という声も聞かれました。

「絶対これからは続けた方がいい!」等の感想は、大学にさらに時代のニーズにこたえた合宿オリを創造することを求めているといえます。

江別ブランド事典は、江別経済ネットワーク(江別市の地域経済活性化を目的とする産学官連携組織)の第一号プロジェクトとして始まりました。

地域固有の有形、無形なものを含めて地域が育んできたものを市民の手で「江別ブランド」(または地域ブランド)として評価、確立し、インターネットを活用し、多くのの方に知ってもらい、利用してもらおうという地域情報に在り方を示すとともに、その結果、江別ブランドの消費拡大から地域経済の活性化、さらには新たなブランドの創発、雇用拡大を目的としています。

主な特徴として、①江別ブランドを公平に認定する枠組みを構築、②ブランド情報のネットワーク化、③誰もが手軽に情報を入手できるしくみ作り、があげられます。この他に、誰にでも使えるように、自然言語ナビゲーションシステムを開発・搭載しています。また、システムは、

江別ブランド事典の開発

～電子ビジネス研究センター～

江別ブランド事典の全体像は、ソフトウェアアシスタントではなく、人間が介在した大きなスキームとなっていています。その中で、本事業で開発が蓄積されています。これらのデータをウェブインタフェースにより、利用者が目的とするブランド情報をインタネットを介して入手できる仕組みとなっています。本学の電子ビジネス研究センターが中心となり、対話型自然言語ナビゲーションシステムを開発全体のコーディネートでは、商学部の渡邊慎哉教授が中心となり、対話型自然言語ナビゲーションシステムの開発と開発全体のコーディネートは、江別市の約七〇〇世帯へのアンケート調査によるデータや取材データ

江別ブランド事典

EBETSU BRAND ENCyclopedia

札幌学院大学

住所 069-0833 北海道江別市文京台11
電話番号 011-366-8111
ホームページ http://www.ssu.ac.jp/

検索

ブランド理由

ブランド詳細情報

【紹介】昭和21年、札幌で商科専門学校として創立。昭和43年、4年制大学と併せて工学部を併設した大学です。商学部・経済学部・法学部・人文学部・社会情報学部の5つの学部があり、約9500人の学生が学んでいます。心の豊かさを求められる現代において、「人の心理解」を追求する臨床心理学を1つめ、人同士のかわりなき重要なテーマとしています。また、平成13年には「電子ビジネス研究センター」を設立。大学と地域の交流力を生かしています。一般の方でも利用できるカフェテリア形式の学食は、札幌を一望できる景観スポットとしても人気です。

【利用可能な施設】●大学生協(1階) ●レストラン(6階) ●カフェテリア・ルイズ(5階) ●カフェテリア・ファラステール(5階) ●ラウンジ・ピスト(5階) ●図書棟 等(各施設の詳細は、お問い合わせください。)

2004(平成16)年度 札幌学院大学公開講座

土曜公開講座

テーマ どうするニッポン!
概要 「民法における法の解釈」「死刑に代替する終身刑」「女性に対する暴力をめぐる10年」「危険に満ちた現代社会に耐える刑法理論とは?」「ヨーロッパ合衆国は誕生するか」「『謝罪』の日米比較」「有事法制の現在とこれからの国際法からみたイラク戦争とニッポン」を各回のテーマに法学部の教員が法と政治を論じる。

開催日 5月8日～7月10日の毎土曜日(全10回) 15:00～17:00

会場 江別市大麻公民館

人文学部公開講座

総合テーマ 21世紀の人間科学
年度テーマ ケアする/される、わたしたち一福祉社会における相互行為としてのケア

概要 社会福祉や心理臨床への関心が高まるなか、「介護」や「介助」を、一方向的でない、ケアする/されるという関係において捉える視点が求められている。多彩な講師を迎え〈生誕〉〈家族〉〈看護〉など多様な場面からこれを考え、人が生涯を通じてケアしあう存在であることを学ぶ。

開催日 8月30日(月)～9月4日(土)(全6回) 13:10～16:20

開催場所 札幌学院大学

商学部公開講座

テーマ 進化する市町村経営
概要 北海道は今、試練の時期を迎えている。高齢化と人口の減少、産業の低迷、自治体の財政危機など、八方塞がりといったも良い。そうした厳しい状況で、地方自治体はどうか。先進的なビジョンや戦略を持つ地方自治体の首長(市長、町長、村長)からお話をうかがい、考えていく。

開催日 8月23日(月)～8月28日(土)(全6回) 18:30～20:50

開催場所 札幌学院大学

法学部公開講座

テーマ 国家、民族紛争、アイデンティティの歴史と行方
概要 グローバリゼーションが進む中、世界の人々は国や地域、宗教、文化に、どのような自己意識を持って政治や社会を営もうとしているのか。日本、韓国、東南アジア、中東、欧州、アメリカなどを例に国民としてのアイデンティティの特質や歴史を探りながら21世紀の新たなアイデンティティの有様を明らかにしたい。

開催日 9月30日(木)～12月9日(木) 毎週木曜日 13:10～14:40

開催場所 札幌学院大学